

# プロジェクト進捗管理シート

## 方針3 「人」と「知」の基盤づくり

# 7 活動人口増加プロジェクト

～信州を元気にする「活動人口」の増加～

総括マネージャー

県民文化部長

### 目 標

少子化対策の充実と移住・交流の促進により人口減少を抑制することに加え、様々な社会活動を活発化させることにより活動人口の増加をめざします。

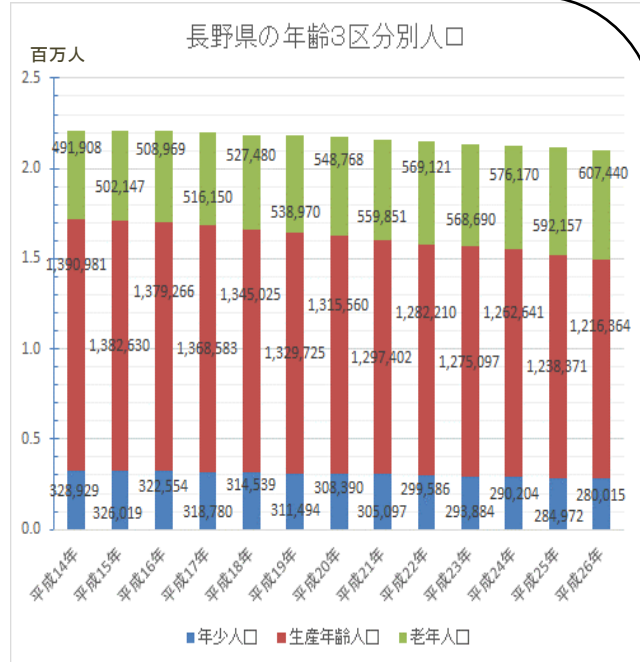
### 総 合 分 析

「信州を元気にする『活動人口』の増加」をめざし、4つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標3項目のうち、「努力を要する」が1項目、「順調」が2項目となっています。

行政サポートによる移住者数については「努力を要する」となりましたが、移住希望地としての人気は高く（2011年から3年連続1位：ふるさと回帰支援センター調査）、移住者数は年々増加しています。

「県の推計値を上回る出生数」については、厚生労働省から発表された平成25年度人口動態統計（確定数）によりますと、出生数は前年比335人の減少となっており、出産時期にある女性の減少から今後も減少が見込まれますが、県の推計値に対しては156人上回る状況となっています。



「毎月人口異動調査」(企画振興部情報政策課調査)  
(毎年4月1日現在)

### ～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

本県人口は平成14年から12年連続で減少しており、特に活動人口の中心となる生産年齢人口については全人口の減少幅を上回る減少となっています（平成14年から平成26年までの減少数：全人口103,436人、生産年齢人口174,617人）。この傾向は今後も続くものと予測されています。人口減少を少しでも緩やかなものとし、活力ある地域を永続させるため、結婚や子育て支援などの少子化対策を強力に進めるとともに、大都市圏などからの移住を促進していく必要があります。

このため、自然増、社会増の視点から以下のような施策を推進していきます。

自然増の視点では、県と市町村の実務責任者を構成員とする「子育て支援ワーキンググループ」を設置し、県と市町村の今後の少子化対策の方向性を検討します。

また、「婚活コーディネーター」の設置による婚活サポーター活動の支援や「ながの結婚マッチングシステム」の機能強化を図り、婚活支援を総合的に推進するとともに、病児・病後児保育や延長保育など多様な保育ニーズに対応する市町村の取組支援、子育て中の女性の就業を促進するための就業相談から職業紹介までを一体的に支援するモデル事業の実施などにより、子育てと就業が両立できる環境を整備します。

社会増の視点では、移住希望者に信州の魅力やライフスタイルを提案するため、銀座NAGANOを活用したイベントや移住相談会を開催していきます。

さらに、社会活動の活発化のため、長野県みらいベースの運用により「寄付」による公共的活動への支援を推進するとともに、各部局に置く「県民協働推進役」による全庁的な協働の推進等、公共的活動への参加を促進します。

## 達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗  
 ○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない  
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

指標名	暦年	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
県の推計値を上回る出生数	目安値	人		0	100	200	400	600
	実績値		-	156				
	進捗区分			順調				
	進捗状況の分析	H25の出生数は16,326人となり、H24の出生数16,661人を下回りましたが、推計値16,170人に対しては156人上回っています。また、合計特殊出生率もH24の1.51から1.54まで回復しています。						
【目標設定理由】 合計特殊出生率がH12年前後の水準に回復した場合(1.54)の出生数の増加数を目標として設定	今後の取組	「総合的な子育て支援戦略」を策定し、市町村との協働により、子育て支援策を強化していきます。 また、市町村や他団体等との連携による「婚活セミナー」の実施等により結婚支援の強化を図るとともに、子どもを産み育てやすい社会とすべく、若年者の雇用環境の安定化と、仕事と家庭の両立への支援をより積極的に行っていきます。						
【関連アクション】 アクション1、2								
指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
行政サポートによる移住者数	目安値	人		600	700	800	900	1,000
	実績値		456	510				
	進捗区分			努力を要する				
	進捗状況の分析	三大都市圏に移住・交流センターを増設し、相談対応を充実化したことで移住者数は増加しましたが、全体の半数以上を占める首都圏からの移住者のうち、Iターン就職者の人数が伸び悩みました。						
【目標設定理由】 現状の数値の2倍以上を目標に設定	今後の取組	銀座NAGANOにおいて、起業セミナーの開催や地域が求める人材のマッチング等を行い、移住者や地域おこし協力隊を増やし、地域づくりの原動力を強化していきます。						
【関連アクション】 アクション3								
指標名	年度	単位	基準値 (H24)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)
公共的活動への参加度	目安値	%		39.3	42.0	44.7	47.4	50.0
	実績値		36.6	39.5				
	進捗区分			順調				
	進捗状況の分析	協働コーディネートデスクの新設や長野県みらいベースの運用開始により、協働の推進と県民の公共的活動への参加促進を図った結果、目標を上回る成果となりました。						
【目標設定理由】 国の目標値を参考に設定	今後の取組	長野県みらいベースの活用や、企業等への広報・勧奨による寄付文化の醸成を図ることで、寄付による公共的活動への支援を行うとともに、民間ノウハウの活用による協働人材の育成、NPOの資金開拓方法の普及等により、県民の公共的活動への参加拡大を図ります。						
【関連アクション】 アクション4								

**アクション  
1**

**(結婚しやすい環境づくり)**

未婚者の出会いの機会の拡大や結婚生活を支える若者の雇用の安定化など結婚しやすい環境づくりに取り組みます。

**【アクションの進捗状況】**

県や様々な団体（89団体）が結婚・子育ての応援を宣言し、また、出会いの機会拡大や結婚応援の総合調整役となる婚活サポーターには174名が登録され、社会全体での結婚支援の気運が醸成されています。（数値はH26.3.31現在）

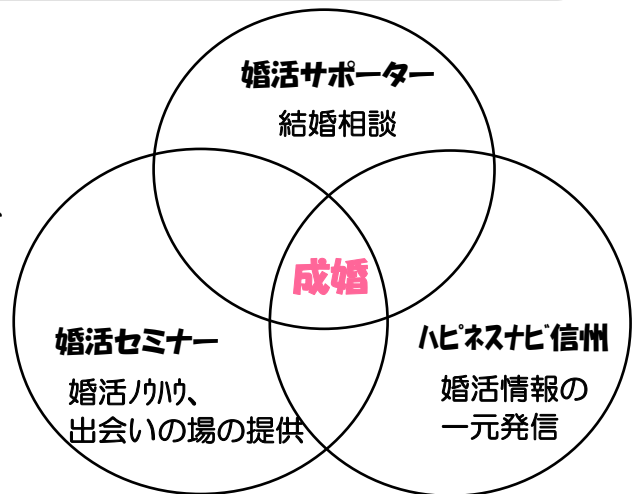
若者の雇用安定については、中小企業就職支援員による県内中小企業情報の収集とインターンシップ受け入れ企業等の開拓により、若年労働者の安定雇用につながる支援のための基礎作りが進んでいます。

**主な成果**

**●ながの出会い応援プロジェクト【H25 新規】**

- 「婚活サポーター」ボランティアによる結婚相談
- 「婚活セミナー」により、婚活のための能力向上、出会いの場の提供を支援
- ポータルサイト「ハピネスナビ信州」により、婚活に関する情報を一元的に発信

・サポーター活動による成婚 平成25年度 9組



**●若者の就職をワンストップで支援**

ジョブカフェ信州における丁寧なキャリアコンサルティングやセミナー、就労体験、市町村と連携したミニジョブカフェ等の実施により就職を支援

・ジョブカフェ信州利用者の就職率

開所からH23までの平均 37.5% ⇒ 平成25年度 53.6%



ジョブカフェ信州における就業相談

**アクション  
2**

**(子育てを支える環境づくり)**  
仕事と家庭の両立支援に向けた取組などにより、1人目はもとより、2人目、3人目の子育てもしっかり支える環境づくりを進めます。

**【アクションの進捗状況】**

子どもの保護者からニーズの高い病児・病後児保育の取組を推進するため、未実施市町村への訪問や市町村担当者会議での働きかけ、市町村からの相談に対する助言を実施し、事業実施市町村が増加しました。また、労政事務所への「働く女性応援アドバイザー」の配置や「子育て等応援制度導入推進員」による企業訪問でのワークライフバランスの啓発等により、36社が短時間正社員制度などの多様な勤務制度を導入しました。

**主な成果**

●市町村における多様な保育サービス等への対応を支援

- 病児・病後児保育施設の整備に対し県単独で助成し実施市町村を拡大
- 放課後児童クラブの運営、施設整備に対し助成し、共働き家庭の子育てを支援

・病児・病後児保育実施市町村数  
H24 16市町村 ⇒ 平成25年度 17市町村

・放課後児童クラブ登録児童数  
H22 18,885人 ⇒ 平成25年度 19,905人

●仕事と家庭の両立を支援

企業に対してワークライフバランスの考え方を啓発すると共に、従業員の子育てを応援する企業独自の取組を県ホームページで発信

・社員の子育て応援宣言企業数(累計)  
H24末 262社 ⇒ 平成25年度末 347社

・多様な勤務制度の新規導入 平成25年度 36社

**アクション  
3**

**(移住・交流推進施策の積極的な展開)**  
三大都市圏などからの移住希望者に対する総合的・横断的な移住・交流推進施策を積極的に展開します。

**【アクションの進捗状況】**

三大都市圏などからの移住希望者に対し、「移住・交流センター」の設置や「田舎暮らし案内人」の配置による相談体制の充実を図りました。また、「楽園信州」ホームページのリニューアルにより情報発信を強化するなど、総合的・横断的な移住・交流推進施策を積極的に展開しました。

### 主な成果

#### ●移住・交流推進戦略の具体的展開

三大都市圏に相談拠点を整備し、3名の専門相談員が、「職業」と「住まい」の相談にワンストップで対応

- ・有楽町(東京)に「移住・交流センター」を設置
- ・名古屋、大阪に「移住・交流サポートデスク」を設置

#### ・移住者、Iターン就職者

H24末 408人 ⇒ **平成25年度末 510人**

#### ・相談件数

H24 2,742件 ⇒ **平成25年度 3,801件**



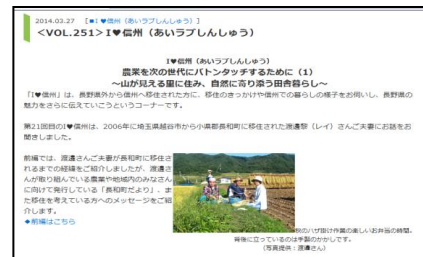
移住・交流サポートデスク(大阪) 開設

#### ●「楽園信州」ホームページのリニューアル

ブログ形式にリニューアルしたことで情報更新の頻度を大幅に増加。情報のカテゴリー化を実施

#### ・HPアクセス件数

H24 80,241件 ⇒ **平成25年度 151,782件**



### アクション 4

#### (公共的活動の支援と協働の積極的推進)

NPO等多様な民間の主体が行う公共的活動を支援するとともに、様々な主体との協働を積極的に進めます。

#### 【アクションの進捗状況】

協働コーディネートデスクにより県民と県の各部署との協働の実現を支援するとともに、長野県みらいベースの運用により寄付による公共的活動への支援を行うことで、県民の公共的活動への参加促進を図りました。また、元気づくり支援金において市町村との協働事業を重点的に支援することで、様々な主体との協働が順調に進んでいます。

### 主な成果

#### ●協働コーディネートデスクの設置

(25年4月開設)

何でも相談や協働の提案についてコーディネートを実施

・コーディネート件数 **平成25年度 54件**

### ●様々な団体との新たな連携

- ライオンズクラブ国際協会との協定  
プロスポーツチームによる小中学生のスポーツ指導者向け講習会の開催や思春期のライフスキル教育である「ライオンズクエスト」への教職員の参加
- 県内プロスポーツ4チームとの協定  
プロスポーツ4チームと協働で人権啓発活動等を実施
- 日本青年会議所長野ブロック協議会との協定  
エネルギーフォーラムin信州中野への県職員の参加



ライオンズクラブ国際協会との包括連携協定調印式

### ●森林（もり）の里親契約の推進

県の仲介により県内外の企業等と市町村が契約して、森林づくり  
例：八十二銀行、ヤクルト、相澤病院、府中市など



森林(もり)の里親契約調印式

・森の里親契約数 平成25年度末 96件

### ●長野県みらいベースの運用（25年4月開始）

寄付という形での公共的活動への参加を促進

・寄付金合計 平成25年度末 4,817千円

・助成団体数 平成25年度 16団体

### ●地域発 元気づくり支援金による助成

活力あふれる元気な長野県づくりを進めるため、市町村や公共的団体が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組むモデル的で発展性のある事業に対して助成

・事業主体別採択金額割合の市町村構成比 平成25年度 増加



高齢者の買い物支援  
「ミニスーパーでの買い物」